

科目名： 教育心理学 (演習) (必修1単位)		担当教員： 松田 侑子	使用テキスト： 出版社名・テキスト名 なし
		担当形態： 単独	
科目	教育の基礎的理解に関する科目	施行規則に定める科目区分 又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
授業到達目標及びテーマ： 各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動の中で、子どもの理解、障害児の理解、保護者との関わり方などを様々な視点から考え、保育者として必要な知識やスキルを理解する。			
授業の概要： 前期の発達心理学を踏まえて、保育実践に役立つように、実験、観察、調査法を取り入れ、できるだけ学生参加型の講義を行う。課題ごとに討論、ロールプレイ、レポートを作成しながら、習得度を確認し講義を進めていく。子ども理解、自己理解を深め、将来保育者として生かせるような力量を身に付ける。			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション	冒頭で授業の概要を説明。教育心理学を学ぶ意義について理解する。	
2	学習理論	様々な学習の形態や概念及び代表的な学習理論の基礎を学ぶ。	
3	子育て支援・虐待防止	主体的な学習活動を支える指導の基礎として少子化問題、家族関係について学ぶ。また、育児ノイローゼ・子育てサポートと虐待との関係、虐待防止の対策を学ぶ。	
4	幼児理解の方法 観察法	遊び場面や食事場面等、幼児理解の方法の一つの観察法について、チェックリストを作成、記録の留意点などについて学ぶ。	
5	心理テスト エコグラム	テスト法の一つとしてエコグラムを実施し、自己理解、他者理解を深める。(評価を含む)	
6	主体的学習を支える動機づけ、集団づくり	主体的学習を支えるための幼児の心身の発達に対する外発的、内発的動機づけや集団づくりについて、実験例をもとに学ぶ。	
7	保育指導法、ほめ方、叱り方	幼児期の善悪の判断、生活習慣の形成を効果的に進めるための保育者の関わり方について様々な視点から主体的学習活動を支える指導の基礎的な考え方を理解する。	
8	人格理論 親子関係と性格	幼児期的人格形成の過程、親子関係と性格形成との関係について事例を基に考える。	
9	心の健康、適応不応、欲求不満耐性	乳幼児の心身の健康について、事例や調査に基づいて考える。	
10	緘黙症、チック症の子どもへの対応	不適応行動を示す子どもへの対処法について考える。	
11	保育者の資質について	家庭との連携の取り方 子どもの問題につき親にどう伝えるか、具体例を基に考える。	
12	面接法 保護者への対応	保護者との面談、連携について討論、ロールプレイを用いて体験的に学ぶ。	
13	ダウン症児の特徴と保育上の留意点	障害児教育のあり方、保育者としての対応について、事例をもとに学ぶ。	
14	自閉症 発達障害児の特徴と保育上の留意点	障害児教育のあり方、保育者としての対応について、事例をもとに学ぶ。	
15	発達面で気がかりな子どもへの対応と保護者への支援	発達面で気がかりな行動や特徴が見られる子どもへの関わりとポイントについて理解する。 —保護者との連携も含めて—	
	期末試験		
参考書・参考資料等： 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、その他講義内容に応じて文献を紹介する。			
学生に対する評価方法： レポート (20) 小テスト (10) 期末試験 (70)			